

シンボルマークと標語決定

これは三十周年の記念事業や市発行の印刷物、封筒などに使用するために、九月から新聞や広報などを通じて募集していたものです。シンボルマークは二十九点、標語は八十六点が応募。十二月六日に開かれた市制施行三十周年シンボルマーク、標語選定委員会が慎重な選考を行った結果、次の作品が選ばれました。

◎最優秀作 北川健二（高知市）



三十周年とだ円で発展性を表現し、カタカナの十のイニシャル

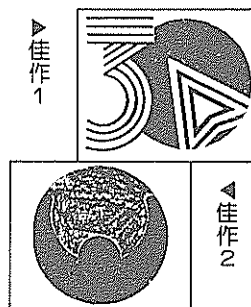
数字の30の秀れたデザイン化が

として 市色（やまもの赤）

選評・田島惇巳

健作 1
高木正平
（前浜）

佳作2 浜田末吉（前浜）



◎最優秀作 山本陽子（久礼田）

夢が羽ばたく

南園市

「夢」は将来への高遠な願望や

佳作 2 池知篤(篠原)
『市制 30 豊かな明日への夢お
う』
○シンボルマーク・標語選定委員
門田益治(市議会議長)
榮枝利実(教育研究所長)

柴枝利実（教育研究所長）
田島惇巳（造形教育研究会長）
岡本巧（青年代表）
坂本和香（婦人代表）
浜田純（助役）

来年の市制施行三十周年に向け

実行委員会は、商工会や観光協

十二月十六日には第10回の実

その後、企画実行委員会が計画した記念事業について説明。事業の位置づけや実施方法などについて話し合いが行われました。

古い写真をお持ちの方は、いつ、

画実行委員会(公)2111内線
401、408へお知らせくだ
さい。